



共同オーナーのひとりでもあるひげ紳士さん

「3年前、YouTubeの動画撮影でレトロなパチンコ台が遊べる『岐阜レトロミニージアム』さんまで遊びに行きました。そこでは昔のパチンコが遊べるだけではなく、昭和の店内の雰囲気も再現していました。これに感銘を受け、私と同世代の方がパチンコを通じて青春時代を思い出せるような場を作りたいと思うようになった」

「3年前、YouTubeの動画撮影でレトロなパチンコ台が遊べる『岐阜レトロミニージアム』さんまで遊びに行きました。そこでは昔のパチンコが遊べるだけではなく、昭和の店内の雰囲気も再現していました。これに感銘を受け、私と同世代の方がパチンコを通じて青春時代を思い出せるような場を作りたいと思うようになった」

「3年前、YouTubeの動画撮影でレトロなパチンコ台が遊べる『岐阜レトロミニージアム』さんまで遊びに行きました。そこでは昔のパチンコが遊べるだけではなく、昭和の店内の雰囲気も再現していました。これに感銘を受け、私と同世代の方がパチンコを通じて青春時代を思い出せるような場を作りたいと思うようになった」

「3年前、YouTubeの動画撮影でレトロなパチンコ台が遊べる『岐阜レトロミニージアム』さんまで遊びに行きました。そこでは昔のパチンコが遊べるだけではなく、昭和の店内の雰囲気も再現していました。これに感銘を受け、私と同世代の方がパチンコを通じて青春時代を思い出せるような場を作りたいと思うようになった」

「3年前、YouTubeの動画撮影でレトロなパチンコ台が遊べる『岐阜レトロミニージアム』さんまで遊びに行きました。そこでは昔のパチンコが遊べるだけではなく、昭和の店内の雰囲気も再現していました。これに感銘を受け、私と同世代の方がパチンコを通じて青春時代を思い出せるような場を作りたいと思うようになった」

## ▶ゲームセンタータンポポ(東京都福生市)

# 昭和のパチンコ店を再現

## 古き良き時代の雰囲気が蘇る

7月3日にオープンした『ゲームセンタータンポポ』(以下、タンポポ)は、今はもうホールで打てないレトロ台を設置した“昭和のパチンコ店風”ゲームセンターだ。思い入れのある台を懐かしんで遊技する人や当時のパチンコ店の雰囲気を味わいたくて来店する人など、楽しみ方は人それぞれ。「チャレンジャー幸手店」のオーナー兼、タンポポの共同オーナーを務める、ひげ紳士さんに開店までの経緯や想いを聞いた。



A／昭和の雰囲気が残る外観 B／当時のパチンコを知る常連客が足を運ぶ C／マイクパフォーマンスをするひげ紳士さん



「閉店日にタンポポのオーナーさんとお話をさせていただき、『パチンコの歴史、文化をここに残したい』と伝えると、それに共感してくれて、快く承諾していただきました」

「7月3日にオープンを迎えた同店には、地域のパチンコファンはもちろん、YouTubeチャンネルで取り上げた動画や雑誌などで、パチンコの歴史を再現したのは外観や設備、レトロ台だけではない。ドル箱は島の上に配置し、箱がいっぱいになつたら自分で交換。出玉の計数も自ら行うスタイル。スタッフは丸いキーリングに付いた台鍵を手でぐるぐると回しながら巡回するなど、パフォーマンスにもこだわった。店内

「昔は、パチンコが大好きだったけど、今は打たなくなつたという方が、『あの頃は楽しかったな』とタンポポに来てくれるのがすごく嬉しいです。よく来店されるのは40代後半から60代前半の方。ですが、若い世代の方にも昔のパチンコを通して、この歴史や文化があるから今があるというこ

とを伝えたいですね」

昔を懐かしむ人、パチンコの歴史に触  
続きは月刊アミューズメントジャパン  
10月号をご覧ください